


◆ 令和3年度 部長マニフェスト ◆ 健康福祉部長

部の概要			
所属課と人員 (R3.4.1現在)	福祉総務課(生活福祉担当含む)・しょうがいしゃ支援課・高齢者支援課(地域包括ケア推進担当含む)・健康増進課(健康づくり担当含む)	183人	

部の運営方針
 ソーシャルインクルージョンの理念を柱に、人を大切にして、互いに支えあえる地域づくりを推進します。生活に困りごとが生じた際に、市民が市役所に気軽に相談でき、一緒に考えて問題を解決する仕組みづくりをすすめます。
 コロナ禍においても、関連部署や専門機関、地域の事業者、団体等と連携し、市民が安心して地域で暮らし続けられる施策を展開します。

令和3年度の重点項目

No.	項目	具体的内容	達成状況(年度末評価)	達成度
1	第二次地域福祉計画の中間評価の実施及び(仮称)第三次地域福祉計画の策定準備	令和3年10月までに国立市地域保健福祉施策推進協議会からの答申を受け、市として第二次地域福祉計画の中間評価を行います。 また、次期計画策定にむけ、同協議会を年2回程度開催し、進捗管理をしながら計画策定の準備をすすめていきます。	令和3年度に国立市地域保健福祉施策推進協議会を3回追加して実施、9月にいただいた答申を各課へフィードバック、今後の方向性をまとめました。 その内容を活用し、令和5年度からの(仮称)第三次地域福祉推進計画の策定に向けて、11月、1月、3月に同協議会を開催し、計画策定準備を進めました。	A
2	誰もがあたりまえに暮らすまちの実現にむけた取り組みの推進	令和3年度中に「国立市しょうがいしゃ計画」の中間評価を行います。 手話言語条例の制定に向けて取り組みを進め、令和3年度は、聴覚しょうがい当事者へのアンケートを行い、現状を踏まえたうえで条例素案を作成します。 地域参加型介護サポート事業の課題解決策をしょうがい当事者の方と一緒に検討し、制度の見直しにつなげます。	計画の中間評価と次期計画策定を一体的に行うため、新たに「国立市しょうがいしゃ施策推進協議会」を設置し、令和4年3月に中間評価会議を行いました。 手話言語条例の制定に向けて、令和3年7月にアンケート調査を実施、調査委員会を令和3年度中に7回開催しました。今後の素案作成に繋げていきます。 地域参加型サポート事業に関して、しょうがい当事者団体等との意見交換を実施したが、制度見直しまでには至りませんでした。引き続き、当事者の方と一緒に制度見直しの検討を行っていきます。	B
3	国立市地域包括ケア計画の実施、評価	令和3年度から3年間の計画期間である国立市地域包括ケア計画(第8期国立市介護保険事業計画、第6次国立市高齢者保健福祉計画)に規定される主要施策について、進捗状況を管理し、可視化することに取り組めます。(PDCAサイクルの確立) また、保険者機能向上に向けて、令和3年10月までに評価指標を作成し、効果的な市の介護保険事業運営につなげます。	次期国立市地域包括ケア計画に規定される主要施策(約20項目)について、介護保険運営協議会における検討状況を可視化する帳票を作成しました。 令和3年度の介護保険運営協議会において、国交付金の評価指標を参考に、事業運営のモニタリングについて議論いただき、いくつかの評価指標案の提案をいただきました。今後、市としての評価指標の作成に繋げていきます。	B
4	生活保護業務における自立を目指した支援体制の充実・強化	受給している方の生活向上に向けて、日常生活自立、社会生活自立、経済的自立3つの観点から自立を促え、組織的に支援方針を定めて支援を行っています。 また、相談援助(ケースワーク)技術の向上にむけてスーパーバイザーによる研修を年3回程度行うとともに、効果的な定期訪問を実施していきます。 あわせて、様々な支援団体との連携を継続し、支援体制の充実・強化を図ります。	生活保護業務における支援方針を検討するため、会議体を設け、組織としての指針を適宜協議しました。 スーパーバイザー等による課内・係内研修を年間5回程度行い、業務の資質向上を図りました。 研修講師には、支援団体や地域の事業者の方を呼ぶなど連携を継続し、支援体制の充実を図りました。	B
5	新型コロナウイルス感染拡大防止策の継続	国立市健康危機管理対策本部の事務局として、新型コロナウイルス感染症への市の対策をとりまとめ、市民への丁寧な情報提供、注意喚起等を行っています。 また、令和3年度はワクチン接種を滞りなくすすめて、高齢・しょうがいサービス提供事業者へ支援等を通じて、高齢者やしょうがい当事者への感染拡大防止に向けた取り組みを継続していきます。	令和3年度中に18回の国立市健康危機管理対策本部会議を行い、コロナ禍における市の対策をとりまとめました。 市保健センターにおいて、新型コロナウイルス感染症に係る相談を受け、年間を通じて丁寧な情報提供等に努めました。 新型コロナウイルスワクチン接種対策室において、市3師会と協力し、市民や高齢・しょうがい施設利用者・職員へのワクチン接種に取り組み、年間を通じて滞りなくすすめることができました。 令和3年8月に新型コロナウイルス自宅療養支援室を市役所内に立ち上げ、感染症により自宅で療養する市民が安心して過ごせるよう、医療、看護と連携した対応を継続しました。	A

【達成度】 A…100% B…80%以上100%未満 C…50%以上80%未満 D25%以上50%未満 E25%未満